

1 目指す学校像

帝塚山学院が設立にあたり提唱した「力の教育」を実現し、意志の力、情の力、知の力、躯幹の力といった、広い意味の力の漲った強い人物を育成する。

1. 活力ある人間の育成
2. 創造性豊かな人間の育成
3. 協調性ある人間の育成
4. 国際感覚豊かな人間の育成 を目標とする。

2 中期的目標

1 教育力の強化

(1) 進路指導

- ① 生徒一人ひとりの進路実現
- ② 現役国公立大学合格者数の増加

(2) 学習指導

- ① 英語検定試験対策の実施
- ② ICT機器の導入

(3) 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣の確立、安心安全な学校生活の充実を図る。
- ② 清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止
- ③ いじめの防止、携帯電話の使用方法について
- ④ 交通安全指導の強化
- ⑤ 生徒指導の強化

(4) 特別活動

- ① 自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実
- ② キャリア教育の充実と大学見学の実施

2 組織力の強化

3 財務基盤力の強化

(1) 入学生の確保

(2) キャンパスの整備

【自己評価アンケートの結果と分析・学校運営協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校運営協議会委員からの意見・感想
<p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入学者を確保するための十分な募集広報活動を、組織的に行っている」・・・93.5%(昨年度より4.7%減) ・「学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている」・・・93.5%(昨年度より1.1%減) ・「保護者へ授業を公開している」・・・93.5%(昨年度より9.6%増) ・「年間を通じた教育計画(シラバス)を各教科別に立てて実践している」・・・91.3%(昨年度より7.4%増) ・「教育課程は学習指導要領に沿っている」・・・89.1%(昨年度より5.1%増) ・「危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている」・・・80.4%(昨年度より7.3%増) ・「同窓会、後援会とのネットワークを確立し、学校運営で必要に応じた支援をおおいでいる」・・・76.0%(昨年度より0.8%減) <p>肯定率が90%台は3項目、80%台は2項目、70%台は1項目である。入試対策部を中心にホームページを毎日更新し、日々の学校生活を配信していること、授業参観を年2回実施していること等により高評価が得られたと考えられる。</p> <p>【教育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「海外留学制度が有効に実施されている」・・・100%(昨年度より3.6%増) 「スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている」・・・87.0%(昨年度より 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもながら、短時間での議事進行、実にすばらしいと思います。いろいろと勉強させていただくことばかりです。働き方改革、教育の現場ではやはり偏りが一番の問題になるようですね。 ・労務問題の専門でも何でもないので、先生方の労務面の問題には興味だけがあって、現状を伺ってみたいと思っておりました。 ・先生方のお仕事は、どう考えても平日8時間の枠内に収まるはずもなく、とはいえ法人は使用者として労働法規による規制を守らなければならないことは当然、それはひいては先生方の健康や人間としてのゆとりのある生活を守ることになるわけで、本当に難しい問題だなと常々思っております。 法人として経営を成り立たせる中で、生徒本位と先生本位のバランスを取ることは「永遠の課題」なんだと思います。どういう制度設計がよいのかの案は何もないのですが、一定の客観性が必要であると思います。 ・部活動も当然先生の視点からは顧問等の業務を増やす方向に働く要素ですが、指導等の一部を外部に委託するなど、自校の先生だけでないマンパワーの活用をなさっている例はありますか。

3.1%増)

「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」・・・86.9%(昨年度より11.9%増)

「図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる」・・・84.7%(昨年度より2.6%増)

「体育祭、文化祭などの学校行事は活発である」・・・82.6%(昨年度より3.1%減)

「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている。」・・・82.6%(昨年度より2.8%減)

「部活動は活発に行われている」・・・80.4%(昨年度より5.3%減)

海外留学はコロナ前と同程度に実施したことで、海外留学制度が有効に実施されているかどうかの項目が肯定率100%となった。また、体育大会や球技大会などの体育行事、泉ヶ丘祭や芸術鑑賞会、ココロの学校といった文化行事もコロナ禍以前の状況に戻っており80%超の肯定率が得られた。

また、中3生を対象として海外を含む多方面で活躍されている卒業生とZoomでつなぎ、卒業生からの講演会を実施した。卒業生に質問する時間も設け、ただ講演を聴くだけでなく、自ら質問をすることで能動的に取り組むことができた。

【生徒指導】

「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」・・・97.8%(昨年度より1.4%増)

「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」・・・95.7%(昨年度より1.1%増)

「不登校の生徒に対するケア体制が整ってい

・クロスカントリー時の中1、中2のクリーン運動につきまして、地域の方々との交流は、自治会、学校お互いにとって地域社会で共存する上でとても大切なことだと思えました。地域の皆様も生徒先生方との交流の場を提供できる良い機会だとおっしゃっていたのが印象的でした。

雅楽の演奏についても演奏者の方が、生徒から率直な意見で質問されるのがとても嬉しいと語られていたのが良い関係を築いているのだなと思えました。このような素晴らしいことは、協議会委員でない知り得ないことなので、その一員であることがよかったなと思うと同時に、保護者の方々に地域の方々の感想含め内容を詳しく発信できたらよいなとも思いました。

・1番印象に残ったのが、校長先生の語学研修等、行事を開催する上でいつでもリスクを負いながら判断しているとおっしゃっていたことです。配慮、検討、思考錯誤が繰り返し行われた後に、常にベストな判断が下されているのだなと感心、納得いたしました。

・生徒本位、先生本位、コロナ前に戻るものもあれば、コロナを通じて学んだものもある、戻さないものもあるということがあり、今の泉ヶ丘がつくられているのはコロナ禍での学び、気づきからきているのだなと思えました。

・国公立の合格者数も年々増加で、来年も再来年も更なる飛躍が楽しみです。学院の先生方の熱心なご指導、努力の賜物だと思っております。

る」・・・93.5%(昨年度より2.4%増)

「登下校に際し、生徒指導は円滑におこなわれている」・・・91.3%(昨年度より1.5%減)

「ICTを利用して授業を行っている」・・・91.3%(昨年度より0.4%増)

「いじめ問題について、保護者と連携をとりながら組織的に対応できる体制がある」・・・89.1%(昨年度より3.7%減)

「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」・・・89.1%(昨年度より0.2%減)

「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」・・・80.4%(昨年度より7.1%減)

生徒指導項目に関しては、6項目で肯定率90%台、3項目で80%台であった。生徒指導部を中心として、泉ヶ丘駅でのバス乗車指導、下校指導が毎日行われている成果が得られた。

年2回実施している「いごこちアンケート」により、生徒が抱えている問題や悩みをいち早く把握している。悩みを抱えている生徒たちに対しては、学年教員、養護教諭、2名のスクールカウンセラーを中心にケアを行っている。

また、生徒およびその保護者へのスクールカウンセラーによるケア体制は確立できしており、不登校生徒に対しては引き続き支援を行う。

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み	評価指標	評価	課題と改善策
教育力の強化	Ⅰ 進路指導 ・生徒一人ひとりの進路実現 ・現役国公立大学合格者数の増加	・通常授業の充実 ・定期補習、夏期セミナー、冬期セミナー、2次直前対策講座の充実	「様々な進路希望に対応できるよう、教育課程（選択科目など）は適切に整備されている」（保護者アンケート） 目標肯定率：90%	【肯定率】 中 86.9% 高 88.4% (令和4年度は 中学 85.6% 高校 88.5%)	令和6年度も年2回の授業見学を継続。 教科主任による呼びかけを強化。
			「学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げている」（保護者アンケート） 目標肯定率：85%	【肯定率】 中 81.2% 高 76.9% (令和4年度は 中学 81.3% 高校 76.5%)	各学年が必要とする補習を設定し、実施する。 高校3年生では、例年通り夏期セミナーを実施する。 1学期の早い段階で周知し、例年通り7月下旬より開始する。
			「補習など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」（自己評価アンケート） 目標肯定率：90%	【肯定率】 89.1% (令和4年度 89.3%)	
			「補習や講習は統合的に整備され、多様な進路希望に対応できる体制になっている」（保護者アンケート） 目標肯定率：75%	【肯定率】 中 73.8% 高 74.1% (令和4年度は 中学 70.1% 高校 73.3%)	中学進路指導部を中心に、中学生への大学進学情報提供を継続する。
			「大学進学に向けた情報は、ガイダンス等を通して生徒・保	【肯定率】 中 68.8% 高 82.3%	

			<p>護者に十分提供されている。」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>(令和4年度は 中学 67.6% 高校 77.0%)</p>	
<p>2 学習指導</p> <p>・ 英語検定試験対策の実施</p> <p>・ ICT 機器の導入</p>	<p>・ オンライン英会話を積極的に導入し、聞く力・話す力の向上を目指す。</p> <p>・ 映像を取り入れた授業の実施。</p>	<p>「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p> <p>「ICT 機器を利用して授業を行っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：95%</p>	<p>【肯定率】89.1% (4年度 89.3%)</p> <p>【肯定率】91.3% (4年度 90.9%)</p> <p>ICT 機器の使用率は例年通り 90%を超えるほどの高い数値であった。</p>	<p>オンライン英会話を引き続き実施。例年通り、英検 2 次試験対策としても利用。</p> <p>ICT 機器の使用は教員に浸透している。</p>	
<p>3 生徒指導</p> <p>・ 基本的な生活習慣の確立</p> <p>・ 清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止</p>	<p>・ きめ細やかな遅刻指導、マナー向上の呼びかけを実施</p> <p>・ 生徒指導部教員を中心とした泉ヶ丘駅や校門付近でのバス乗車指導の実施</p> <p>・ 定期テスト間に 3 回以上遅刻した生徒に対し、早朝登校指導を実施</p>	<p>「学校は規則正しい生活習慣が身に付くように指導している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p> <p>「登下校の安全や交通マナーに関する指導が十分になされている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p>	<p>【肯定率】 中 87.9% 高 88.4% (4年度は 中学 91.5% 高校 87.5%)</p> <p>【肯定率】 中 90.6% 高 94.6% (4年度は 中学 89.8% 高校 88.5%)</p>	<p>中学校、高等学校とも 90%前後で高止まっている。これまでの指導を継続する。</p> <p>一方で、バス、電車での苦情は未だにない。自転車の運転マナーについても同様である。</p> <p>登下校時のバス乗車指導は生徒指導部を中心に毎日実施していく。</p>	

<p>・安心安全な学校生活の充実を図る</p>	<p>・月1回、アドバイザーを招いての教育相談ケーススタディ会議を実施。 助言を受けて、不登校気味の生徒のケアを行う。</p>	<p>「学校は保護者の悩みや相談、問い合わせに丁寧に対応している」(保護者アンケート) 目標肯定率：90%</p> <p>「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」(自己評価アンケート) 目標肯定率：97%</p>	<p>【肯定率】 中 88.9% 高 84.6% (4年度は 中学 90.8% 高校 85.5%)</p> <p>【肯定率】97.8% (4年度 96.4%)</p>	<p>ケーススタディ会議は1ヶ月1回開催。 アドバイザーの助言を参考に対応を決定していく。</p> <p>2名のスクールカウンセラーに、毎日カウンセリング室を開放してもらうことで、保護者、生徒がいつどのような状況でも相談できるようにする。</p>
<p>・いじめの防止、携帯電話の使用方法について</p>	<p>・いじめ対策アンケートの実施</p>	<p>「学校は生徒からの悩みや相談に親身になって対応している」(保護者アンケート) 目標肯定率：85%</p>	<p>【肯定率】 中 82.6% 高 78.0% (4年度は 中学 85.6% 高校 78.3%)</p>	<p>「いごちアンケート」を年2回(5月と10月)に実施。 アンケートで気になった生徒へは担任教員を中心に対応する。 引き続き STAND BY を用いて情報共有を行う。</p>
	<p>・人権道徳教育の実施</p>	<p>「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：95%</p>	<p>【肯定率】95.7% (4年度 94.6%)</p>	<p>年2回実施の「いごちアンケート」の結果を中高部長と学年主任、学年担任団で共有し、早急な対応を行う。</p>

	<p>4 特別活動</p> <p>・ 自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実</p> <p>・ キャリア教育の充実と大学見学の実施</p>	<p>・ 生徒会活動のより一層の活性化</p> <p>・ 課外クラブ活動への積極的な参加の呼びかけ</p> <p>・ 大学見学や卒業生によるキャリア教育講演会の実施</p>	<p>「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p> <p>「部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている」(保護者アンケート)目標肯定率：80%</p> <p>「部活動は活発に行われている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p> <p>「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p>	<p>【肯定率】86.9% (4年度 75.0%)</p> <p>【肯定率】 中 73.8% 高 77.3% (4年度は 中学 77.8% 高 71.0%)</p> <p>【肯定率】82.6% (4年度 85.7%)</p> <p>【肯定率】82.6% (4年度 85.4%)</p>	<p>毎週月曜日に実施している中学校の全校朝礼は昨年度より生徒会が主体となって再開。</p> <p>また、月1回開催している生徒会専門委員会では、各委員会がそれぞれの問題点を集め、生徒会会長を中心として執行委員とともに解決していく。</p> <p>同窓会主催のZoomを利用した卒業生による講演会は、大変好評であり、今年度も引き続き行う予定である。</p>
<p>組織力の強化</p>	<p>組織力の強化</p>	<p>・ 学年主任と中心として学年での報告連絡相談を徹底し、一貫した対応を行う</p>	<p>「教員はチームワークがとられており、一貫した対応ができる」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率： 中 85%、高 80%</p>	<p>【肯定率】 中 81.9% 高 79.4% (4年度は 中学 84.9% 高 75.0%)</p>	<p>中学は 80% 台前半、高校は 70% 台後半である。各教員が単独ではなく、チームで問題解決にあたっている。</p> <p>中高部長と各分掌</p>

					長、教科主任、学年主任が今後も連携し、問題の解決にあたる必要がある。
財務基盤力の強化	入学者の確保	・説明会を実施	「入学者を確保するための十分な募集広報活動を組織的に行っている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：95%	【肯定率】93.5% (4年度98.2%) 6年連続で90%以上である。	学校説明会は従来の形式で実施している。令和6年度の中学入試説明会形式を変更して実施予定。
	キャンパスの整備	・体育館の空調設備工事 ・体育館のカーテン修復工事 ・物理実験室の改修工事	「施設・設備は、よく整備されている」(保護者アンケート) 目標肯定率：90%	【肯定率】 中88.3% 高88.4% (4年度は 中学88.4% 高83.8%)	令和5年度は体育館の空調工事、物理実験室の改修工事を実施した。今年度も老朽化している設備を修繕していく予定。

※ 自己評価アンケート、保護者による学校評価アンケートは 1：達成できている 2：ほぼ達成できている 3：あまり達成できていない 4：まったく達成できていない の4段階に分けて回答。肯定率とは、全ての回答における1と2の回答の割合のこと。
肯定率 [%] = (1と2の回答数 / 全回答数) × 100 で計算した。